

社会福祉法人横浜市社会福祉協議会 理事会 議事録（要旨）

日 時	平成 28 年 5 月 26 日（木）午前 10 時から 11 時 15 分
会 場	横浜市健康福祉総合センター 8 階 大会議室 8 A B
出 席	理事総数 18 名中 15 名出席（うち書面審議 2 名）
議 題	<p>第 1 号議案 会員の承認について 第 2 号議案 評議員の選任について 第 3 号議案 任期満了に伴う評議員の選任について 第 4 号議案 保育士修学資金貸付事業規則の制定について 第 5 号議案 平成 28 年度一般会計収入支出予算の補正について 第 6 号規程 経理規程の一部改正について 第 7 号議案 保有する情報の公開に関する規程の一部改正について 第 8 号議案 退職給付債務の算定に伴う年金数理計算の導入及び適用基準の選択について 第 9 号議案 平成 27 年度事業報告並びに一般会計及び年金共済事業特別会計収入支出決算について</p> <p>〔議題は審議の結果、すべて承認されました。〕</p>
報告事項	<p>1 平成 27 年度監事監査報告について 2 平成 28 年度苦情解決調整にかかる提言について 3 平成 27 年度資産運用状況及び平成 28 年度資産運用方針について 4 保有する情報の公開に関する規程施行規則の一部改正について</p>

議 事 要 旨	
● 第 1 号議案 会員の承認について	新規会員として、構成会員 A 12 団体、行政会員 1 名、学識会員 2 名の入会について承認
● 第 2 号議案 評議員の選任について	欠員に伴い 3 名の評議員が選任された
● 第 3 号議案 任期満了に伴う評議員の選任について	<p>次期評議員として、37 名が選任された（うち新任は次の 6 名）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 構成会員 A 柿原建男 評議員（第二白百合乳児保育園 園長） ・ 構成会員 A 伊丹基光 評議員（済生会神奈川県病院 事務長） ・ 構成会員 B 清水龍男 評議員（横浜市心身障害児者を守る会連盟 副代表幹事） ・ 構成会員 B 鷹野薫 評議員（横浜市精神障害者家族連合会 副理事長） ・ 学識会員 海上良太 評議員（横浜市 P T A 連絡協議会 理事） ・ 学識会員 八木澤恵奈 評議員（横浜障害児を守る連絡協議会 副会長）
● 第 4 号議案 保育士修学資金貸付事業規則の制定について	<ul style="list-style-type: none"> ・（質問）対象者と社協との間で契約が必要になるのか。 （回答）申込の際に申込書をいただき、貸付の際に契約書を取り交わす形となる。 ・（意見）募集枠を超えた場合はどうなるのか。 （回答）養成校にて事前に調査・調整を行い、配分する枠内で推薦していただくことで 50 人の枠を事前に定めるかたちとなる。 ・（質問）3 月理事会時の資料では、対象者として「学業優秀な卒業年次の学生」とあったが、今回の資料には「卒業年次」との記載がない。対象者は卒業年次の学生でなくてもよくなったのか。 （回答）貸付期間として卒業年次の 12 か月を限度とするとしており、卒業年次の学生が対象となる。 ・（質問）県内の養成施設というのは、短大なども含まれるか。 （回答）短大、専門学校なども含まれる。 <p>保育士修学資金貸付事業規則の制定について承認</p>
● 第 5 号議案 平成 28 年度一般会計収入支出予算の補正について	平成 28 年度一般会計収入支出予算の補正について承認

● 第6号議案 経理規程の一部改正について	
経理規程の一部改正について承認	
● 第7号議案 保有する情報の公開に関する規程の一部改正について	
○ 報告事項4 保有する情報の公開に関する規程施行規則の一部改正について	
保有する情報の公開に関する規程の一部改正について承認	
● 第8号議案 退職給付債務の算定に伴う年金数理計算の導入及び適用基準の選択について	
退職給付債務の算定に伴う年金数理計算の導入及び適用基準の選択について承認	
● 第9号議案 平成27年度事業報告並びに一般会計及び年金共済事業特別会計収入支出決算について	
○ 報告事項1 平成27年度監事監査報告について	
<p><監事監査報告></p> <p>平成28年5月19日に監査を行ったところ、業務執行状況は事業計画及び予算に定められたところに従い活発に活動を行い、その事務執行も適正である。また、経理状況及び財産状況は、予算の執行に伴う経理の状況並びに財産の管理状況について厳正に行っており、収支計算書も適正であると認められた。</p> <p>・(質問)生活困窮者への支援についてお伺いしたい。もしも北海道から横浜へ来た生活困窮の方が、やっぱり横浜では住みづらいので北海道へ戻ってやり直したい、そのための交通費を出してほしいと言った場合どう回答するか。</p> <p>また、6人に1人の子どもが貧困となっており、中学校にお弁当を持ってこられない子もいる。その様な子どもに対して社協はどのように考えているのか。</p> <p>もう一点。社協の人事異動は会長の一存なのか、それとも本人の意向等がある程度踏まえられているのか。</p> <p>(回答)交通費については、生活福祉資金の規定には当てはまらないため、今のところは対応が難しい状況である。</p> <p>2つ目の子どもの貧困については、大きな課題と捉えており、子ども食堂の取り組みについて、区社協で把握・協力しているところが13か所、区社協として実施しているところが3か所ある。フードドライブなどについても検討している。また、貧困状態にある子どもの学習の支援を行うため、区社協が学習支援の取組を支援しているところが13か所、区社協として実施しているところが7か所ある。あわせて、講演会など貧困に関する啓発の取組は4か所で行っている。無料低額診療施設の紹介や自立についての研修会などは、10区で実施している。貧困は奥が深い問題のため、地域の支え合いや、発見後の見守りが大切だと考えている。</p> <p>3つ目の人事異動については、管理職を含め、本人の意向を聞いている。その上で、本人の意欲、適性、能力等を踏まえて組織判断を行っている。</p> <p>平成27年度事業報告並びに一般会計及び年金共済事業特別会計収入支出予算について承認</p>	
○ 報告事項2 平成28年度苦情解決調整にかかる提言について	
○ 報告事項3 平成27年度資産運用状況及び平成28年度資産運用方針について	
○ その他	
事務局	<p>以下について報告</p> <p>①平成28年度各種委員名簿</p> <p>②平成28年春の叙勲・褒章受章者一覧(本会関係者)</p> <p>③次回及び次々回理事会について</p>
<p>・(質問)熊本地震に対して、職員派遣等を行っているか。</p> <p>(回答)職員派遣については、現地の混乱を防ぐため、九州、四国、中国、近畿地方の社協のみに限られていた。しかし、緊急小口資金の特例貸付に伴い職員の派遣依頼があり、5月15日から20日まで、神奈川県社協、川崎市社協、本会職員の3名が現地で貸付の相談業務にあたった。本会職員は熊本市動物園に設けられた特設会場にて相談にあたり、全体で毎日120~130件、一人当たり20件以上の相談を受け付けた。</p> <p>・(質問)私の施設でも現地に行って支援をしたいと申し出ている職員がいるが、社協として各施設に支援の呼びかけを行うか。</p> <p>(回答)各施設からの派遣については、行政から施設種別ごとに派遣についての調整が入ったと聞いているが、本会経由ではなかったため、詳細について十分把握ができていない。今後行政と連携を取っていきたいと考えている。</p>	